

これまで届かなかった声を含めて、より多くの思いを形にする夏へ。

さあ一緒に、踏み出す夏へ。

山内が目指す政治「一人ひとりを大事にする政治」「命を守る、まっとうな政治」

命を守る



- 高額療養費負担上げは反対
- 地方の医療・福祉の底支え

暮らしを支える



- 急務は物価・米の価格高騰対策、賃上げ
- 農業・食料・物流・中小企業・地域公共交通の堅持

未来をつくる



- 少子化対策＝「分娩空白地帯」への対応、産後ケアの促進
- こども・若者を育てる＝学校給食費・授業料無償化・雇用の安定
- 超高齢化社会に対応できるまちづくり

まっとうな政治の実現

- 「緊張感」と「熟議」の国会の実現
- 金権政治との決別

災害に備える



- 木造住宅耐震化の促進
- 避難所充実化で震災関連死「ゼロ」への挑戦



〈連絡先〉
〒880-0001 宮崎市橋通西5-5-19
立憲民主党宮崎県第1区総支部内
電話0985-77-8777 FAX0985-77-8778
yamakanajimusho@gmail.com



のぞいてね！

直面している現在の社会課題について対話を重ねています。
皆さんの声もぜひ聴かせてください。

「100の対話プロジェクト」が始まっています！

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

踏み出す夏へ

山内かなこ

〈後援会案内〉



後援会の申し込みはこちら



山内かなこの
あゆみと
思い



1981年1月

宮崎市に会社員の父、看護師の母の長女として生まれる

1歳上の兄、4歳下の妹の3人きょうだい。木登り大好きな元気な子でした



1987年4月

宮崎市立憶小入学

樹齢100年以上のクスノキに見守られ、演劇クラブ、生徒会活動を楽しむ



憶小時代、県音楽大会で学校代表で挨拶

1993年4月

宮崎大学教育学部附属中入学

吹奏楽部で初となるコントラバスに挑戦。
この頃の夢は「理科の先生」



東北大学(仙台市)の入学式で
両親と

1996年4月

宮崎西高理数科入学

ひたすら勉強に励む

1999年4月

東北大学法学部入学

政治学のゼミへ。演劇部、アルバイトの日々



記者時代、当時の民進党・
岡田代表へのインタビュー



コロナ禍で次男を出産

2003年4月

宮崎日日新聞社入社 (記者19年)

宮崎の社会課題の現場を歩む。報道部
で県議会、市議会を取材し、政治の重み
を体感。延岡支社3年、災害担当記者と
して防災士を取得。2回の出産経験を
経て、これまで気づけなかった立場、視点
を心に刻む

2021年11月

宮崎県議補選(宮崎市区)に挑戦、初当選

宮崎県議として戦後7人目の女性議員に

「県民の声を受け止め、届けたい」SNSの活用、勉強会を開催

渡辺創県議(現・衆議院議員)の声掛けもあり、「これまで届かなかった声を県政へ」との思いで政治家への
転身を決意。「有権者が語る会」、子育て、不登校、いじめ、LGBT、災害などをテーマにした勉強会を70回
以上開催。一人ひとりの声を受け止め、県政へつないだSNSを活用し、普段は忙しい子育て・働く世代、若者
世代の声を聴く努力も

2023年4月

宮崎県議選(宮崎市区)、トップ当選(2期目)

「届かなかった声を形に」新たに要望活動に力を注ぐ

「医療的ケア児を受け入れる事業所への支援充実を
求める要望書」「1型糖尿病の子どもの学校生活の
ために教職員への研修の充実を求める要望書」な
ど、当事者の声、届きにくかった声も含めた予算化、
事業化へ全力を注いだ



県議会、最後の一般質問



1型糖尿病の子どもたちのために
県に要望書を提出

2025年3月

夏の参院選への挑戦を決意

「より多くの思いを形に」命とくらしを守る国政へ

県議時代に痛感した「すべての法律や制度の土台は国政」という思いから、決断

あらためて県民一人ひとりと対話する「100の対話プロジェクト」をスタート



県議選の当選で、渡辺創衆議院議員や皆さんと